

ワクチン別の安全性・有効性について

○新型コロナワクチンの接種にあたっては、予防接種法第23条に「国は、国民が正しい理解の下に予防接種を受けるよう、予防接種に関する啓発及び知識の普及を図るものとする。」と規定されていることから、下記のとおり、国において情報発信が行われています。

■厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>



■厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」これは本当ですか？

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/truth/>



■厚生労働省厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会）資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_127713.html



■厚生労働省厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会）資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html



○奈良県では、県民の皆様が、予防接種に関する正しい理解を深めていただけるよう、上記の情報を補完する形で「Q&A」等を作成し公表しています。

初回シリーズ・追加接種におけるワクチン別の副反応発生頻度（安全性）について

- 厚生労働省の研究事業において、継続して実施されている調査の資料を抜粋しています。この研究は現在も調査が継続されているため、途中経過を含む報告です。
- 組換えタンパクワクチン（武田（ノババックス）：ヌバキソビッド筋注）、mRNAワクチン（ファイザー：コミナティ筋注、モデルナ：スパイクバックス筋注）、およびウイルスベクターワクチン（アストラゼネカ：バキスゼブリア筋注）の、それぞれ同じワクチンを接種した場合の副反応発生頻度について並記しました。 ※アストラゼネカの追加接種は実施されていません
- 調査の対象は、国立病院機構に属する施設、地域医療機能推進機構に属する施設、順天堂大学の職員、研究班の募集による調査参加希望者であり、医療従事者他、多職種が含まれます。
- ノババックスの調査対象人数は少数であることに注意が必要です。
- 参考のためインフルエンザワクチンの副反応の状況を掲載しています。

単位は (%)	ノババックス (筋注)		ファイザー (筋注)		モデルナ (筋注)		アストラゼネカ (筋注)	【参考】 H1N1インフルエンザ (皮下注)
	初回接種 <small>途中経過</small>	3回目追加接種 <small>途中経過</small>	初回シリーズ	3回目追加接種 <small>途中経過</small>	初回シリーズ	3回目追加接種 <small>途中経過</small>	初回シリーズ	
	18人	58人	19,806人	3,035人	13,220人	1,170人	554人	21,972人
発熱 (37.5℃以上)	5.6	10.3	39.3	39.7	76.3	62.9	53.4	3.1
発熱 (38.0℃以上)	0.0	0.0	21.6	21.1	59.8	43.4	29.2	0.5
接種部位反応	61.1	65.5	96.6	92.1	93.2	94.1	80.3	70.0
発赤	11.1	10.3	24.0	17.1	29.7	29.4	24.0	60.1
疼痛	55.6	65.5	96.1	90.9	91.6	92.0	78.5	43.8
腫脹	22.2	6.9	20.7	16.4	23.9	31.1	15.5	36.0
硬結	16.7	10.3	20.5	11.3	23.1	23.7	14.8	
熱感	11.1	8.6	25.3	25.2	35.2	37.3	23.5	28.2
かゆみ	11.1	5.2	17.0	13.3	17.5	18.5	14.6	34.6
全身症状	38.9	48.3	78.8	76.2	85.6	82.6	79.6	26.6
倦怠感	33.3	39.7	72.0	69.0	80.9	75.6	72.6	19.0
頭痛	27.8	27.6	58.0	55.1	64.7	64.5	59.2	14.1
鼻水	5.6	8.6	10.9	17.3	15.0	21.4	24.5	10.4
注) 有害事象の 観察期間	1回目接種もしくは3回目接種から4週間後まで		初回シリーズは2回目接種から4週間後までの7週間、 3回目追加接種は追加接種から4週間		初回シリーズは2回目接種から4週間後までの8週間、 3回目追加接種は追加接種から4週間		2回目接種から4週間 までの12週間	接種から1週間後まで

【参考文献】 第82回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料
「新型コロナウイルス組換えタンパクワクチン初回シリーズ および追加接種にかかわる 免疫持続性および安全性調査（コホート調査）」
<https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000973434.pdf>



(2022年8月24日閲覧)

初回シリーズ接種後の追加接種におけるワクチン別の有効性について

- 厚生労働省の研究事業において、継続して実施されている調査の資料を抜粋しています。（調査の途中であることにご注意ください。）
- ワクチン別に追加接種（3回目接種）後1か月の抗スパイクタンパク質抗体価の結果をまとめました。
- 調査の対象は、国立病院機構に属する施設、地域医療機能推進機構に属する施設、順天堂大学の職員、研究班の募集による調査参加希望者であり、医療従事者他、多職種が含まれます。
- ノババックスは国内での接種開始間もないため、調査対象人数が極めて少なく、ノババックスの追加接種の結果は、アストラゼネカを初回接種した対象者です。
- 他のワクチンとの比較には注意が必要です。

初回シリーズ		追加接種	調査対象人数	追加接種前		追加接種後	
1回目接種	2回目接種	3回目接種		抗体価※		抗体価※	
アストラゼネカ		ノババックス	7	121	交互接種	3,867	32.0倍
ファイザー		ファイザー	487	386	同種接種	19,771	51.2倍
ファイザー		モデルナ	485	454	交互接種	29,442	64.9倍
モデルナ		モデルナ	184	988	同種接種	19,248	19.5倍
モデルナ		ファイザー	228	992	交互接種	17,757	17.9倍

※幾何平均 単位：U/ml

【参考文献】厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会資料

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html

第78・81回「新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）にかかわる免疫持続性および安全性調査（コホート調査）」

第82回「新型コロナ組換えタンパクワクチン初回シリーズ および追加接種にかかわる免疫持続性および安全性調査（コホート調査）」



(2022年8月24日閲覧)